

「大腸癌の異時性転移の有無を予測する方法およびそれに用いるキット」 特許取得に関するお知らせ

2022年3月10日

株式会社DNAチップ研究所

【概要】

株式会社DNAチップ研究所（代表取締役社長：的場 亮）は「大腸癌の異時性転移*1の有無を予測する方法およびそれに用いるキット」に関する国内特許を取得しましたので、お知らせいたします。なお、本特許は北海道公立大学法人札幌医科大学との共同出願です。

発明の名称： 大腸癌の異時性転移の有無を予測する方法およびそれに用いるキット

特許番号： 特許第7024957号

特許登録日： 2022年2月15日

大腸癌は我が国で罹患率が高い癌の一つであり、部位別罹患数は男性で3位、女性で2位となっています（2018年 国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録））。大腸癌は、手術により腫瘍組織を除去すれば問題のない良性のものから、転移しやすい悪性度の高いものまでさまざまであり、多様性が高い癌です。中には腫瘍組織が小さくても転移しやすい悪性度の高いものも存在するため、術後の治療方針の決定のためにも、そのリスク判定・予後予測方法の確立が求められています。

株式会社DNAチップ研究所と札幌医科大学消化器・総合、乳腺・内分泌外科学講座（竹政伊知朗教授）の研究グループは、大腸癌患者の腫瘍組織に発現する特定の遺伝子から異時性転移を予測する方法を開発し、このたび国内特許を取得しました。

当社は今後、本特許を活用した大腸癌転移予測の性能評価を進めて参ります。なお、本年度の業績には影響はありませんが、今後開示すべき事象が発生または判明した場合には速やかにお知らせいたします。

【用語の説明】

*1 異時性転移： 癌を治療後、ある一定期間以上時間を経た後に他の臓器にあらわれる再発癌。大腸癌の場合、肝転移や肺転移がみられる場合が多い。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社DNAチップ研究所

住所：東京都港区海岸 1-15-1 スズエベイディアム 5階

電話番号：03-5777-1700

FAX 番号：03-5777-1702

Email：info@dna-chip.co.jp

URL：https://www.dna-chip.co.jp